

T

、院後も

T

つなぎます

A

あなたの

K

こころとからだ

3月15日号
地域連携室発行

TTAK が送る 発表者に聞く！



日差しも和らぎ、春の足音が近づいてきた今日この頃。花粉症でお悩みの方も多く、純粹に、春に心が躍る方とそうでない方がいらっしゃるのではないのでしょうか？ 杉に悩まされず、桜を楽しみませんか♪

今回のTTAK新聞は、日本医療薬学会年会で発表されました、薬剤師の石田さんにインタビューしました。

第15回 日本医療薬学会年会 石田詞子さん学会で発表！

Q：石田さんお疲れ様でした。

今回の発表の内容を一言で言うと？

A：今回の演題名は、「インスリン自己注射再指導の評価とリスプロ混合製剤（ヒューマログ®ミックス 25）変更の有用性について」で発表しました。

インスリン自己注射をされている糖尿病患者さんの注射手技の再指導を行った結果と、新しく開発されたインスリンリスプロ混合製剤（ヒューマログミックス 25）へ変更した患者さんの心理的ストレスと血糖コントロールが改善された結果を発表しました。



Q：とても興味深い内容ですが、発表しようと思ったいきさつは何でしょうか？

A：私が発表した日本医療薬学会は、薬剤師の学会の中でも基礎研究から日常業務の改善までとても幅広い分野の発表があるのが特徴で、自分の日々行っている業務の見直しや興味のある分野での知識の習得など、参加するだけでもとても自分を活性化できる場となっています。

そして、日本医療薬学会では、医師や看護師などの学会と同様にある一定基準（学会発表と論文投稿）に達した薬剤師には認定制度がありまして、今回その認定を取得しようと思決意して、発表することにしました。

ちなみに、当薬剤科には学会認定指導薬剤師1名と認定薬剤師1名が在籍しており、播磨病院はその教育研修施設にも認定されています。発表するにあたって、自分の研究が患者さんの治療効果の向上とともに、心理的な面にもアプローチ出来ないだろうかと考えていました。

私は、当院の生活習慣病療養指導チームの一員としてインスリン自己注射を行っている患者さんと接する機会が多く、患者さんがインスリン注射に対して大きなストレスを抱えていることを日

々感じていました。特に、注射時間が食事の30分前であるインスリン（ヒューマカート3/7、ノボリン30R）を注射されている患者さんは、注射時間に対するストレスが大きいことを指導した際に再認識させられました。最近、食事の直前に注射が可能なインスリンリスプロ混合製剤（ヒューマログミックス25）が発売され、製剤を変更することでストレスが軽減され、血糖コントロールも改善されることが示されていたので、医師の協力で処方変更を行っていただき、インスリン注射時間に対するストレスと血糖コントロールの変化を追跡しました。その結果、ストレスの軽減と血糖コントロールの改善が確認できたため、発表することとしました。

Q：直前打ちにすることでストレスの軽減となり血糖コントロールの改善がみられたのですね。今回の発表の感想を教えてください。

A：今回の学会はすべてポスター発表だったのですが、会場が地下の駐車場という驚くべき体験をさせていただきました。その日は気温も高く、発表する私だけでなく、座長、参加者みんな暑さとの戦いといった感じでした。そんな中で、発表内容を分かってもらうために声を張り上げて発表しました（駐車場なのでエアダクトの音がBGMとなっていました）。

同じようにインスリン療法に関する発表をされた方や、ふだん指導されている方とディスカッションできたことがよかったです。

また、全国の病院薬剤師が集まった学会で他施設の取り組みが勉強でき有意義でしたし、我々の生活習慣病療養指導チームも全国的に見ても、決して遅れることなく、むしろ先を行っているように感じられ大きな励みになりました。

そして、今回の研究で聴き取り調査を行ったことにより、糖尿病患者さんとじっくり話すことができ、普段では聞けない患者さんの本音を聞くことが出来ました。また、血糖コントロールが改善したり、ストレスが軽減されたことを患者さんとともに喜ぶことが出来ました。

Q：素晴らしいですね。では、今後の抱負などをお願いします。

A：今後も患者さんと一緒に問題解決ができるようなコミュニケーション作りを心がけ、薬剤師として患者さんに出来ることを日々模索したいと思います。その結果、学会で発表したり論文を書いていけるようがんばりたいと思います。



石田さん、ありがとうございました。
私も、インスリン治療に悩む患者さんと接する際、今回の情報を役立てたいと思います。
次回は、『1周年記念版 T T A K新聞を作っているのはこんな人！』です。
お楽しみに～❀

T A K新聞のバックナンバーは、播磨病院ホームページ

<http://www.harima-hp.jp/main.htm>からご覧いただけます。

BY : S. M